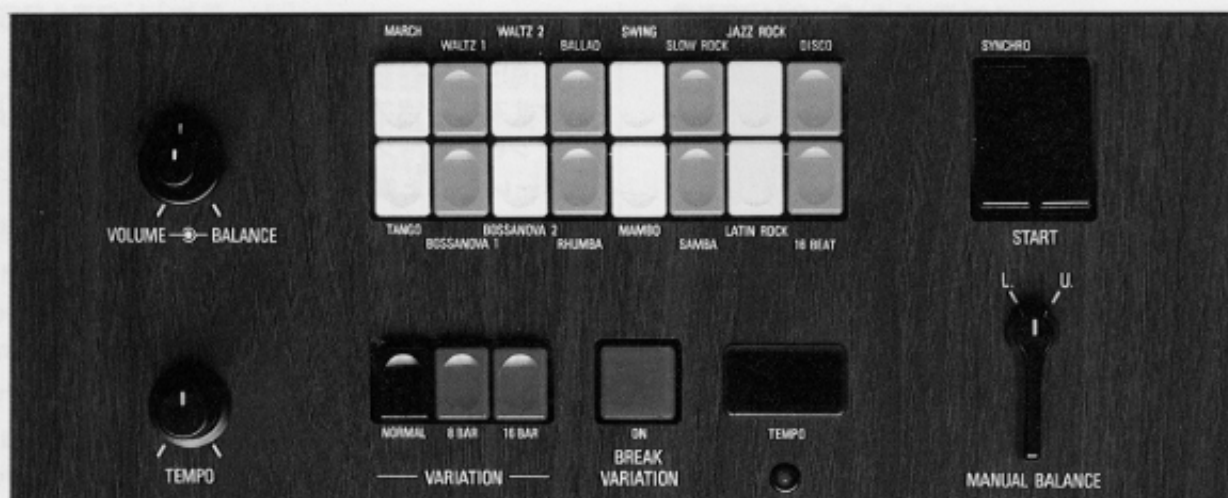


3. オートリズム



●リズムコントロール

TEMPO (テンポ)

リズムの速さをコントロールするつまみで、右にまわすほどテンポが速くなります。デジタルディスプレイにリズムの速さが表示されますから、曲のテンポ指定がある時などは、演奏前にセットできて便利です。

VOLUME (ボリューム)

リズムの音量をコントロールするつまみで、右にまわすほどリズムの音量は大きくなります。鍵盤の音の音量とバランスをとるためのものです。

BALANCE (バランス)

リズム音の高音部と低音部のバランスをコントロールするつまみです。左にまわすとバスドラムやボンゴなどの低音部、右にまわすとシンバルやハイハットなどの高音部が強調されます。

●テンポインジケータランプ

デジタルディスプレイの下についている赤いテンポインジケータランプは、リズムの1拍目または、4分音符ごとに点滅し、演奏時にタイミングをとったりするのに便利です。

★リズムが鳴っている時は、リズムの小節の1拍目に点滅します。

★シンクロスタートを入れている時、リズムがスタートしている間は、小節の1拍目に、ストップしている間は、4分音符ごとに(リズムの組み合わせによっては変わることもあります)点滅します。

●デジタルディスプレイ

ブレイクバリエーションの右にあるデジタルディスプレイには、テンポつまみでセットしているリズムの速さが表示されます。この数字は、1分間に打つ4分音符の数ですから、演奏前にテンポをセットする時の目安にしてください。

●8BAR・16BAR(バリエーション)

リズムセレクトボタンとともに、これらのボタンを押しておけば、8小節目、または16小節目ごとにバリエーションパターンが自動的に入ってきます。入ってくるバリエーションパターンは選んだリズムを変化させたもので、さまざまなパターンが得られます。

●BREAK VARIATION (ブレイクバリエーション)

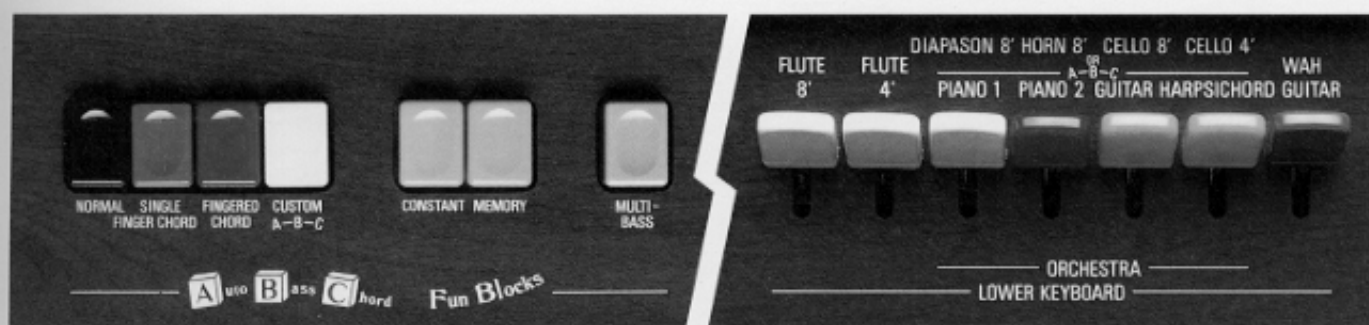
演奏中、ONのボタンを押すだけで、任意に変則リズムへ切りかえることができます。この変則リズムは、選んだリズムによって異なりますから、さまざまなパターンを得ることができます。

★ブレイクバリエーションの作動中、オートベース/コード、オートアルペジオ、ワウギターの音はききません。

★イントロ機能

スタートのタブレットを入れてリズムをスタートさせる前に、ブレイクバリエーションのONのボタンを押しておけば、イントロが自動的に入ってきます。

4. オートベース/コード



●オートベース/コードの音色

オートベース/コードには、シングルフィンガーコード、フィンガードコード、カスタムA-B-Cの3種類の使いかたがありますが、これらを使っている時の音色は次のとおりです。

下鍵盤トーンレバー(ABCトーン)

ABCトーンは、オートリズムに連動している音色です。シングルフィンガーコードを使うと、鍵盤をひとつ押さえるだけで和音になってきざまれ、フィンガードコードかカスタムA-B-Cを使うと、押さえたとおりの和音できざまれます。また、フルート音色は持続音として得られます。

★WAH GUITAR(ワウギター)は持続音ではなく、リズムをきざみます。そのパターンは選んだリズムによって決定されますが、ABCトーンとは別のきざみかたをします。

カスタムボイス

カスタムボイスアッパー/ローのタブレットを入れると、オートベース/コードを使っている時でも、カスタムボイス音色が下鍵盤から得られます。(フィンガードコード、カスタムA-B-C)
ペダル鍵盤トーンレバー

リズムにのったベース音が自動的に得られますが、ABCトーンのきざみかたとはちがひ、順次単音ででてくるベースパターンになります。ベースパターンは、選んだリズムによって決定され、マルチベースのボタンを押すことで、バリエーションをつけることができます。

シングルフィンガーコードかフィンガードコードを使うと、下鍵盤で押さえた音をもとに、カスタムA-B-Cを使うと、ペダル鍵盤で踏んだ音をもとにベース音が得られます。

●CUSTOM A-B-C(カスタムA-B-C)

シングルフィンガーコード、フィンガードコードのかわりにカスタムA-B-Cのボタンを使えば、下鍵盤とペダル鍵盤別々に自動伴奏が得られます。

- ①リズムをセット。
- ②音色をセット。(下鍵盤トーンレバー、ペダル鍵盤トーンレバー)
- ③カスタムA-B-Cのボタン(白)を押す。
- ④下鍵盤を和音で押さえると同時に、ペダル鍵盤も踏む。

下鍵盤の和音とペダル鍵盤の音は切り離されていますので、下鍵盤トーンレバー音色は、下鍵盤で押さえたとおりの和音になり、ペダル鍵盤トーンレバー音色は、ペダル鍵盤で踏んだ音をもとに自動伴奏されます。つまり、フィンガードコードで和音を押さえた時に自動的に得られるベース音を、ペダル鍵盤で選ぶわけですから、下鍵盤の和音とちがったベース進行も可能になり、より高度な自動伴奏ができます。

●CONSTANT(コンスタント)

シングルフィンガーコード、フィンガードコード、カスタムA-B-Cを使っている時に、このコンスタントのボタンを押すと、オートリズムとの連動が切られます。したがって下鍵盤の音色はすべて持続音になり、ペダル鍵盤トーンレバーの音色も、リズムにのったベースパターンではなくなります。

★シングルフィンガーコードとコンスタントを同時に入れた時は、下鍵盤トーンレバーの音色は和音の持続音として得られます。ただし、ワウギターの音色だけは、コンスタントを入れてもリズムにのってでできます。

●オートリズムとの関係

オートベース/コードはオートリズムと連動して働きますから、オートリズムのスタートのタブレットやフットスイッチの操作によって、次のような音のでかたになります。

★スタートタブレットを入れている時。

下鍵盤から指を離すとオートベース/コードは作動しなくなりますが、リズムは鳴り続けます。ただし、メモリーボタンを入れていると、指を離してもオートベース/コードは作動し続けます。

★シンクロのタブレットを入れている時。

下鍵盤を押さえると同時にリズムとオートベース/コードが作動し始め、指を離せば両方とも止まります。カスタムA-B-Cを入れている時は、下鍵盤とペダル鍵盤のどちらかを押している間、リズムは作動します。

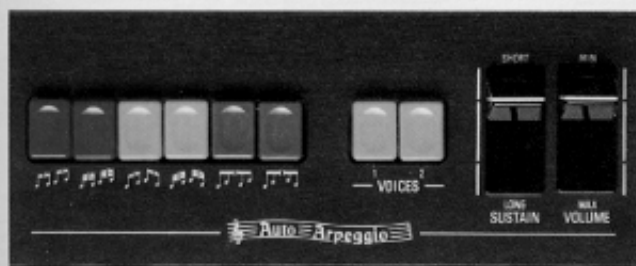
★フットスイッチでリズムを止めている時。

フットスイッチタブレットのリズムストップを入れ、フットスイッチを押すと、リズムが止まるとともに、下鍵盤とペダル鍵盤トーンレバーの音色は、リズムにのった音色、パターンではなくなります。

★ブレイクバリエーションを入れた時。

ブレイクバリエーションのONのボタンを押して、ブレイクバリエーションのパターンを挿入させている間は、オートベース/コードは作動しません。

5. オートアルペジオ



●オートアルペジオの音色

オートアルペジオの音色には、VOICE 1と2があり、1は4、2は2の音程です。スライドレバーで音量調節することができ、しかも2つの音色を組み合わせても使えます。

サステインレバーは、オートアルペジオ専用のもので、下にさげるほど余韻が長くなります。

●パターンセレクトボタン

アルペジオのパターンを選ぶボタンは6つあります。下鍵盤で押さえた音をもとにアルペジオがきざまれますが、そのパターンは選んだリズムや、下鍵盤の押さえたかたによって変化します。

●オートリズム、オートベース/コードとの関係

オートアルペジオは、リズムに連動してきざまれますから、オートリズムを入れていなければ得られません。また、オートベース/コードと同時に使用することができます。

★シンクロスタートのタブレットを入れておくと、下鍵盤を押さえると同時に、リズムとアルペジオが1拍目からスタートします。また、フットスイッチでリズムをストップさせている間やブレイクパリエーションを作動させている間は、オートアルペジオも止まります。

★シングルフィンガーコードと組み合わせると、下鍵盤をひとつ押さえるだけで、和音を押さえた時に得られるアルペジオのパターンになります。また、ペダル鍵盤を同時に踏むことで、アルペジオ音もセブンスやマイナーコードの音に変えることができます。

STRONG 4' NAH COMB. 1 COMB. 2 DELAY DEPTH SPEED VIBRATO

FLUTE 8' FLUTE 4' DIVERSE HORN 8' CELLO 8' CELLO 4' NAH PIANO 1 PIANO 2 GUITAR HARP/ORGAN GUITAR

BASS 16' BASS 8' TUBA 16' BASS GUITAR 8'

MASTER VOLUME

UPPER CUSTOM VOICES

PRESET ENSEMBLE

VOICES

SHORT MIN LONG SUSTAIN

AmM7 Am7 D7 C E7

POWER

GLIDE RHYTHM STOP

FOOT SWITCH

SHORT REVERB SHORT

UPPER CUSTOM VOICES

PRESET ENSEMBLE

VOICES

SHORT MIN LONG SUSTAIN

日本音楽著作権協会(出)許諾第8004947号
©1974-1975 EDITORA AUGUSTA Ltd.(Permuta Group), Sao Paulo, Brazil.
©1975 for Japan assigned to NIPPON-AMERICANA Music pub. Co., Tokyo.

STRONG 4' NAH COMB. 1 COMB. 2 DELAY DEPTH SPEED VIBRATO

FLUTE 8' FLUTE 4' DIVERSE HORN 8' CELLO 8' CELLO 4' NAH PIANO 1 PIANO 2 GUITAR HARP/ORGAN GUITAR

BASS 16' BASS 8' TUBA 16' BASS GUITAR 8'

MASTER VOLUME

UPPER CUSTOM VOICES

PRESET ENSEMBLE

VOICES

SHORT MIN LONG SUSTAIN

G7 C F Am

POWER

GLIDE RHYTHM STOP

FOOT SWITCH

SHORT REVERB SHORT

UPPER CUSTOM VOICES

PRESET ENSEMBLE

VOICES

SHORT MIN LONG SUSTAIN

answer ●ラブ イズ ジアンサー

日本音楽著作権協会(出)許諾第8004947号
©1976, by AVCO ENBASSY Music Pub. Co., Inc.
Rights for Japan assigned to VICTOR Music Pub. Co., Inc.

Electone

BRILLIANCE

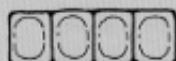


ATTACK LENGTH 4' 2 1/2'



UPPER KEYBOARD

ORCHESTRA



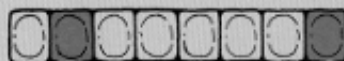
NORMAL SINGLE FINGERED CHORD A-B-C



CONSTANT MEMORY



MULTI-BASS



UPPER SPECIAL PRESETS



MIN

MAX VOLUME



PICCOLO TRUMPET TRUMPET VIOLIN VIOLIN VIOLIN

UPPER ORCHESTRA



VOLUME - BALANCE



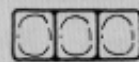
TANGO BOSTONIA 2 HAMB LATIN ROCK 16 BEAT



SYNCHRO



TEMPO



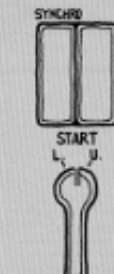
NORMAL 8 BAR 16 BAR



ON BREAK VARIATION



TEMPO



MANUAL BALANCE

Aranjuez, Mon A



CELESTE PEDAL LOWER FLUTE LOWER FLUTE UPPER FLUTE UPPER FLUTE



CHORD TREMOLO LOWER FLUTE LOWER FLUTE UPPER FLUTE UPPER FLUTE

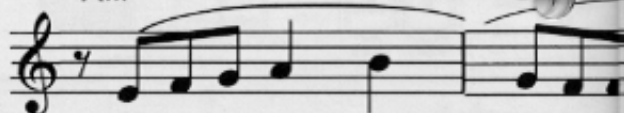
TREMOLO

Adagio

Am



Am



E7

Am



H. SS COMB. 1 COMB. 2
 DELAY DEPTH SPEED
 VIBRATO
 FLUTE 8' FLUTE 4' DIAPHRAGM HORN 8' CELLO 8' CELLO 4' WAH
 PIANO 1 PIANO 2 GUITAR HARP GUITAR
 ORCHESTRA
 LOWER KEYBOARD
 BASS 16' BASS 8' TUBA 16' BASS GUITAR 8'
 PEDALS
 MASTER VOLUME

MELLOW MIN
 BRIGHT MAX
 VOLUME
 UPPER SPECIAL PRESETS
 UPPER CUSTOM VOICES
 LOWER SPECIAL PRESETS
 LOWER CUSTOM VOICES
 UPPER ENSEMBLE
 SHORT MIN
 LONG SUSTAIN MAX
 VOLUME
 1 VOICES 2

Rhythm ϵ $\&$
 POWER

Dm Am
 E7sus4
 GLIDE RHYTHM STOP
 FOOT SWITCH
 UPPER FLUTE REVERSE FAST SLOW
 UPPER WIND REVERSE
 UPPER SUSTAIN (KNEE)
 MIN MAX REVERB
 SHORT SHORT
 LONG UPPER PEDAL SUSTAIN

Dm Am
 E7sus4
 3

日本音楽著作権協会(出)許第8004947号
 © 1959 by JOAQUIN RODRIGO
 © 1968 by Editions Saladert
 Rights for Japan assigned to TOSHIBA Music Pub. Co., Ltd.

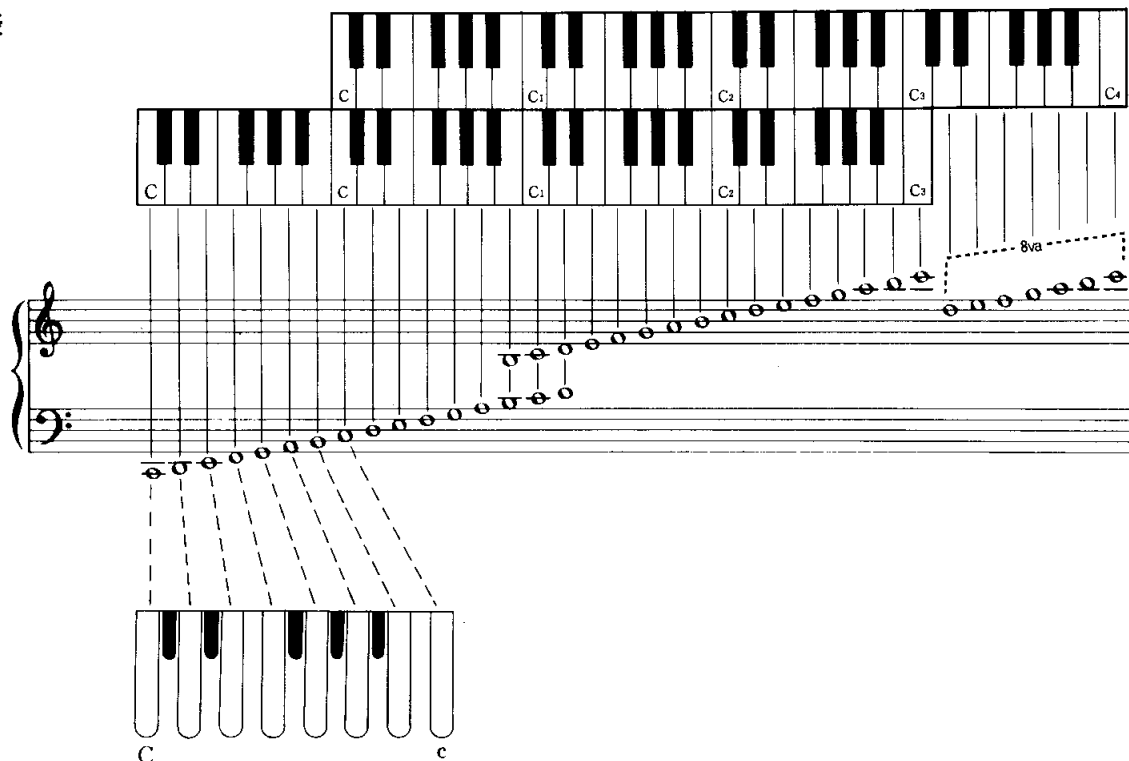
仕様と音域表

●仕様

- 鍵盤
 - 上鍵盤：49鍵(C~c4)
 - 下鍵盤：49鍵(C~c3)
 - ペダル鍵盤：13鍵(C~c)
- トーンレバー
 - 上鍵盤：フルート16・8・5 $\frac{3}{4}$ ・4・2 $\frac{3}{4}$ ・2、プラス16・8、クラリネット16、オーボエ8、ストリング16・8・4、ワウプラス、アタック音=アタック4・2 $\frac{3}{4}$ 、アッパープリセット=コンビネーション1・2
 - 下鍵盤：フルート8・4、ディアパゾン8、ホルン8、チェロ8・4、ワウギター、(ABCトーン=ピアノ1・2・ギター・ハーブシコード)
 - ペダル鍵盤：バス16・8、チューバ16、ベースギター8
- スペシャルプリセット
 - セレクトボタン：ピアノ、ハーブシコード、(ギター・アコーディオン・バンジョー、マンドリン、ビブラフォン)
 - コントロール(エフェクト)：シンフォニック、ボリューム
- カスタムボイス
 - セレクトボタン：ピッコロ、トロンボーン、トランペット、バイオリン、ファニー
 - コントロール(エフェクト)：シンフォニック、ブライト、ボリューム
- プリセットアンサンブル
 - スペシャルプリセットアッパー/ロワー、カスタムボイスアッパー/ロワー、スペシャルプリセット、カスタムボイス、アッパーアンサンブル
- エフェクト(コントロール)
 - ブリリアンス、アタックレングス、ビブラート=ディレイ・デプス・スピード、シンフォニックコーラス=セレスチ・ペダル・ロワーオーケストラ・ロワーフルート・アッパーオーケストラ・アッパーフルート、トレモロ=コーラス・トレモロ・ロワーオーケストラ・ロワーフルート・アッパーオーケストラ・アッパーフルート、トレモロスピード、フットスイッチ=グライド・リズムストップ、リバース、アッパーフルートレスポンス、アッパーオーケストラレスポンス、アッパーサステイン、サステインレバー=アッパー・ペダル、ペダルピッチ

- オートリズム
 - セレクトボタン：マーチ、ワルツ1・2、バラード、スイング、スローロック、ジャズロック、ディスコ、タンゴ、ボサノバ1・2、ルンバ、マンボ、サンバ、ラテンロック、16ビート
 - バリエーション：ノーマル、8バー、16バー、ブレイクバリエーションオン
 - コントロール：スタート、シンクロスタート、テンポ、ボリューム、バランス、デジタルディスプレイ、テンポインジケータランプ
- オートベース/コード
 - ノーマル、シングルフィンガーコード、フィンガードコード、カスタムABC、コンスタント、メモリー、マルチベース
- オートアルペジオ
 - セレクトボタン：6パターン、アルペジオボイス1・2、サステイン、ボリューム
- その他
 - マスターボリューム、パワースイッチ(ドアースイッチ)、マニュアルバランス、エクスプレッションペダル、フットスイッチ、ニーレバー、ヘッドホンジャック、AUX-OUTジャック、AUX-INジャック、EXP-INジャック、ステレオヘッドホンジャック、AUX-OUTレフト/ライト、トーンキヤビネットコネクター=ヤマハIIP・ヤマハI3P・レスリーIIP
- アンプ
 - メインアンプ60W、トレモロアンプ60W、左右アンプ30W×2
- スピーカー
 - メインスピーカー30cm・20cm・5cm、トレモロスピーカー20cm、左右スピーカー20cm×2
- 定格電圧100V、定格消費電力200W、定格周波数50/60Hz
- 寸法
 - 間口115.4cm、奥行66.9cm、高さ101.4cm(譜面台を立てた時117.4cm)、重量103kg(椅子別)
- 外装
 - アメリカンウォルナットグレイン

●音域表



(この音域表は8'の音程を基準にしています)

付属端子と音のエチケットについて

●エレクトーン棚板下の付属端子

●HEADPHONE(ヘッドホン端子)はヘッドホンと接続するためのものです。ジャックを入れると、エレクトーンのスピーカーからは音が出ません。(モノラルヘッドホン専用)

●AUX-OUT(ライン出力端子)はエレクトーンで演奏した音をテープに録音したり、他のアンプに接続する時に使うものです。

●AUX-IN(ライン入力端子)はレコードやテープの音をエレクトーンのスピーカーを使って出し、これに合わせて演奏することができるものです。

●EXP-IN(EXP連動入力端子)はリズムボックスやシンセサイザーなどを接続して、エレクトーンのエクスプレッションペダルで音量を調節しながら演奏できるものです。

●STEREO HEADPHONE(ステレオヘッドホン端子)はステレオヘッドホンと接続するものです。音が左右にふりわけられて聞こえます。(ステレオヘッドホン専用)

●AUX-OUT LEFT/RIGHT(ライン出力端子)の2つの端子は、ステレオ装置で聴いたり、ステレオテープレコーダーに録音する時に使用します。



●音のエチケット

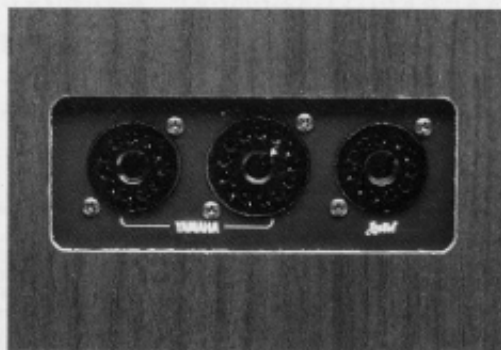
私たちの日常生活と音は切っても切れない関係にあります。音がしなくなったら、それこそたいへんです。でも、いくらきれいな音でも雑音と同じように感じる時だってあります。自分が気持ちよく演奏していても、他人にとっては迷惑なこともあるのです。ですから、特に人が眠るような時間に音を出すことは、避けなくてはなりません。いくら窓を閉め切っていても、音はどこからか伝わっていつてしまいます。そんな時はぜひヘッドホンをお使いになって、心ゆくまで演奏をお楽しみください。音についても私たちは互いにゆずりあい、やさしい心づかいを示すのがエチケットです。美しい音楽を愛されると同時に、住みやすい環境をご自身の手で守ってくださいますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

●トーンキャビネットコネクター

演奏会、発表会などの際に、トーンキャビネットを接続すれば、よりダイナミックなサウンドが得られます。

●YAMAHA(ヤマハ)のコネクターは、電子トレモロ効果内蔵のヤマハトーンキャビネットに接続します。トーンキャビネットの機種に応じて、11Pと13Pのコネクターがあります。

●LESLIE(レスリー)のコネクターは11Pで、レスリースピーカーに接続できます。

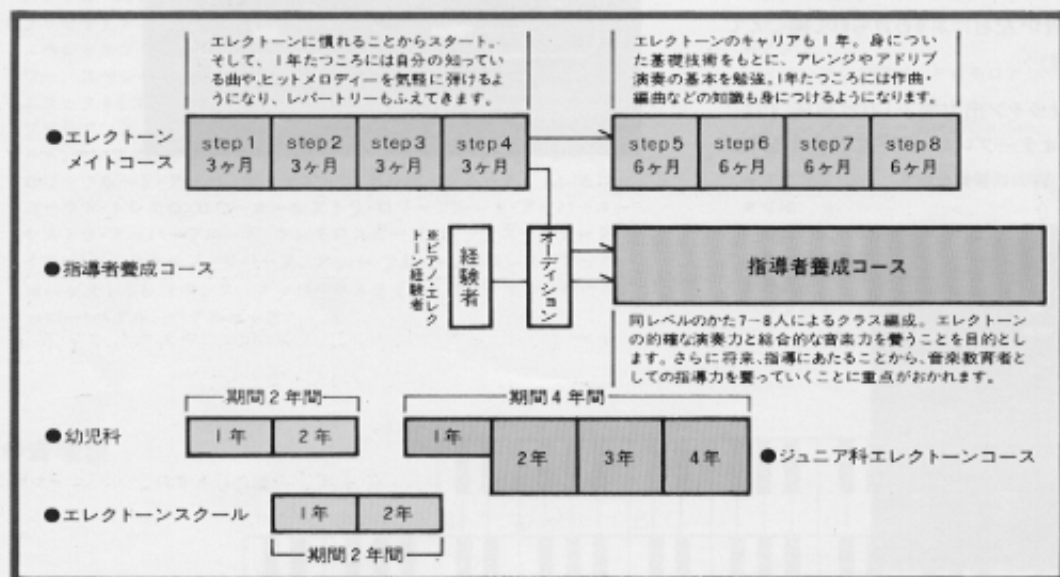


HP-50A(モノラル)

エレクトーン教室のご案内



お子様に正しい音楽教育を、とお考えのかたや、エレクトーンを自由自在に弾けるようになりたいというかたのために、ヤマハではエレクトーン教室を全国に開設しております。ヤマハエレクトーン教室は、自宅や学校、またお勤め先のすぐ近くにあり、どの教室でも《ヤマハ音楽教育システム》のカリキュラムによる指導を行なっていますから、地区によって水準が異なるようなことはありません。



エレクトーンは、音楽の楽しさを伝えるだけでなく、音楽の基礎を学ぶのに最適な楽器です。エレクトーンは、鍵盤楽器の一種で、鍵盤を押さえると音が出ます。エレクトーンは、音域が広く、音の出し方が簡単で、音の調節も簡単です。エレクトーンは、音楽の楽しさを伝えるだけでなく、音楽の基礎を学ぶのに最適な楽器です。エレクトーンは、鍵盤楽器の一種で、鍵盤を押さえると音が出ます。エレクトーンは、音域が広く、音の出し方が簡単で、音の調節も簡単です。

ヤマハの主なコンサート

●エレクトーンフェスティバル(EF)

インターナショナルエレクトーンフェスティバルは、新しい音楽の創造をめざして、年1回開かれる国際的な催物です。全国180会場の予選を経て、全日本大会にのぞむ国内の参加者に加え、海外からも多くの参加者を数え、世界のオルガン界に認められた権威ある催しとなっています。

●ジュニアオリジナルコンサート(JOC)

15才以下の子どもたちが、自分でつくった曲を自分で演奏し、発表するコンサートです。オリジナルのソロやアンサンブル

曲、また即興曲など、自由で独創性にあふれた音楽が、発表されています。また、国内だけでなく、海外からも招かれ、「小さな音楽使節」と讃えられています。

●シニアコンサート(SC)

ジュニアオリジナルコンサート活動を通して豊かな音楽性を身につけた16才以上のシニアたちが、さらに新しい可能性を拓けるコンサートです。ソロやアンサンブル曲だけでなく、オーケストラとの協奏曲も演奏され、各方面から注目を集めています。

エレクトーン出版物

●エレクトーンポピュラーシリーズ

ジャンル別にポピュラー音楽を選曲した曲集です。

●エレクトーン5セレクションシリーズ

一流プレーヤーが選曲、アレンジした5曲が収められています。

●エレクトーンワイド12シリーズ

ビッグアーティストをクローズアップした曲集です。

●エレクトーンラブサ운ズシリーズ

愛をテーマにした名曲を選んだシリーズです。

●エレクトーンクラシックシリーズ

クラシックの名曲をエレクトーン用にアレンジしました。

●エレクトーンヒット50シリーズ

ポケットサイズで一冊に50曲収めたメロディー譜曲集。

●エレクトーンパーソナルシリーズ

一流プレーヤーの作品集として作られたユニークな曲集です。

●エレクトーンファンファンファン

最新のヒット曲を中級者向けに編集しました。

●ABC曲集

シングルフィンガープレイを中心にしたファミリー向け曲集。

●レッツプレイエレクトーン

13～10級の人のために編集されたサブテキストです。

●エレクトーンレパートリーシリーズ

9～6級を受験する人のためのレパートリー曲集です。

●エレクトーンデュエット

レコードが付いたユニークな曲集です。

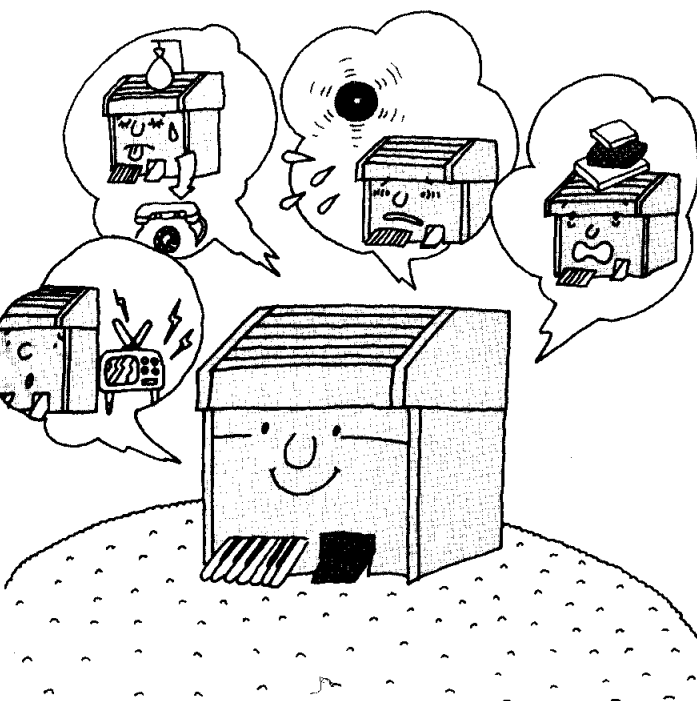
●ジョイフルエレクトーン

初級者向けにアレンジされた曲が収められています。

長くお楽しみいただくために

エレクトーンをいつまでもお楽しみいただくためには日頃のお手入れがかんじんです。

ピアノやオルガンと同じ取り扱いをしていただければ問題ありませんが、特に次の点にはご注意ください。



●使用後は必ず電源スイッチを切ってください。(電源スイッチを切り忘れても、スライド蓋をしめることで電源が切れます。)

●直射日光は避けてください。

●外装の塗装はビニールと化学反応をおこしますので、ビニール製のカバーはご使用にならないでください。

●湿気や熱も避けてください。

●蓋の上には重い物をのせないようにしてください。

●蓋を上を持ち上げないでください。

●蓋の上にヘアピンやコイン等を置いたまま開けると、それが内部にはいつ故障の原因になることがあります。

●鍵盤のお手入れは水を含ませた柔らかな布できれいにふきとって行なってください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対使わないでください。

●テレビ、ラジオをエレクトーンの近くでお使いになると、テレビ、ラジオに雑音が入る場合があります。そのときはエレクトーンからできるだけ離してご使用ください。

●エレクトーンには交換用のヒューズはついていませんが、もしヒューズが切れたと思われる場合でも、絶対にご自分では交換をなさらないで販売店もしくは、日本楽器電音サービス係までご連絡ください。

●長くご使用にならない時や、雷が鳴っている時などは、電源コードをコンセントからはずしてください。

このような現象は故障ではありません

下記のような、故障でない現象でサービスを依頼された場合には、保証期間中であっても実費料金をいただきます。

●電気的な現象

現 象	原 因	解決法
スイッチを入れても、すぐに音が出ない。	エレクトーンが正しく作動するためには、4秒くらいの時間があるため。	エレクトーンが正確に作動する証拠です。ご心配いりません。
時々雑音が入る。(ガリツとかポツンという雑音)	①家庭の電気冷蔵庫、洗濯機など電気器具の電源入、切り時。 ②市街地のネオンサインの故障、電気ドリルなど。	①原因と思われる機器からなるべく離れたコンセントを使う。 ②ネオンなどの故障を修理する。 ③原因不明あるいはご不審の点は日本楽器各支店電音サービス係までご相談ください。
ラジオやテレビ等に雑音が入る時がある。	エレクトーンのすぐ近くにラジオやテレビを置いてあるとき。	ラジオやテレビはなるべくエレクトーンから離してご使用ください。
ラジオやテレビ等の電波が入る時がある。	近くに大電力の放送局やアマチュアの無線局があるとき。	どうしても気になる場合は、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店電音サービス係までご相談ください。
トーンレバーによって、鍵盤位置による音量のバラツキがある。	一般に電子楽器では音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量バラツキをなくすことは非常に困難です。エレクトーンではどの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されています。	音の強さや音色はエレクトーンの設定場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあるので、どうしても気になる時はお求めの楽器店あるいは日本楽器各支店電音サービス係までご相談ください。
ヘッドホンで練習のとき、ブーンという電気の雑音(ハム)が気になる。	本体のスピーカーで音を出している時はあまり気にならないのに、ヘッドホンを使って練習する際ブーンという電気のうなり雑音(ハム)が気になることがある。	エレクトーン本体の電源プラグをコンセントへ逆にさしこんでみてください。
ペダル鍵盤とカスタムボイスは同時に2音を押さえても1音しか出ない。また、上・下鍵盤は同時に8音押さえても、それぞれ7音しかでない。	ペダル鍵盤とカスタムボイスは1音、上・下鍵盤はそれぞれ7音ずつの音しか出ないようになっています。これは、演奏上、設計上の理由からです。	ペダル鍵盤とカスタムボイスは高音優先、上・下鍵盤は先に押さえられた鍵盤を優先します。
エレクトーンに鼠が入って故障を起こした場合。	エレクトーンの内部に鼠が入り束線その他を切ったりするため。	保証期間中でもサービス料金を頂きます。鼠の入るおそれのあるところは、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店電音サービス係までご相談ください。実費にて防鼠処理をさせていただきます。
トレモロを作動したとき、風切り音が入る。	トレモロ用ドラムが回転する音です。	トレモロが正しくかかる証拠です。ご心配入りません。
ヘッドホンを使うとトレモロ効果がかからない。	トレモロ効果は、スピーカーの前にあるドラムの回転によって音をうねらせ、独特の雰囲気を作り出すものですが、ヘッドホンを使った場合はスピーカーの信号(楽音)が遮断されてしまうためにトレモロ効果のない音になります。	

●取り扱いによる現象

現 象	原 因	解 決 法
電源を入れたまま振動やショックを与えると雑音が出る。	内蔵のリバースレション装置に柔らかいスプリングを使用しているため、振動が伝わるため。	①使用中は、大きな振動やショックを与えないようにしてください。 ②エレクトーンはぐらつかないように設置してください。 ③移動する時は、電源スイッチを切るか、リバースレバーを上あげてリバースがかからないようにしてから移動してください。
レスポンスがきかない。 アタック音が出ない。	サステインタブレットが入っているためです。	サステインタブレットをOFFにしてください。
フルートレスポンスを入れると、音が出るとき、ブツという音が入る。	音の立ちあがり時間が早くなるため、その切りかわり時点で発生するものです。	この音はクリックと呼ばれ、このような効果をねらったものです。スローテンポでムーディーな曲には合いませんが、パンチのきいた曲には貴重なものです。
シングルフィンガーコードまたはフィンガードコードのボタンを入れてもオートベース／コードが作動しない。	オートベース／コードは下鍵盤トーンレバーおよびペダル鍵盤トーンレバーがセットされていなければ音は出ません。また、オートリズムが作動していない時はリズムをきざまず持続音となります。	必ず下鍵盤トーンレバー、ペダル鍵盤トーンレバーをセットしてください。また、リズム伴奏がしたい時は必ずオートリズムをONにしてください。
シングルフィンガーコードで下鍵盤の高い方を押さえても低い方を押さえても、音程が変わらない。	シングルフィンガーコードでは定められた1オクターブの中の音が出るようになっています。同じ音名であれば、下鍵盤のどの位置を押さえても同じ音程で和音が出ます。	
オートベース／コードでフィンガードコードとメモリーのボタンを押すと、押さえたはずの和音とは違った和音がきざまれる。	コードをチェンジするとき、瞬間的に関係のない鍵盤に触れて、それを機械がすばやくキャッチするためです。	①正確にコードチェンジを行ってください。 ②メモリーボタンをOFFにしてください。
下鍵盤やペダル鍵盤が鳴りっぱなしになってしまう。	①オートベース／コードのコンスタントがONで、さらにメモリーもONになっているためです。 ②オートリズムがきざまれていて、メモリーがONになっているためです。	オートベース／コードのメモリーボタンをOFFにしてください。
オートベース／コードを使っている時、スペシャルプリセットを下鍵盤に移しても、スペシャルプリセットの音色が出ない。	オートベース／コードを使っている時は、下鍵盤ではトーンレバー、カスタムボイス（シングルフィンガーコード使用時には出ません）の音色が出るようになっています。	
オートリズムのボタンを同時に2つ押しても、1つのリズムしかでてこない。	上下のリズムは、組み合わせてもきれいにならないので、組み合わせられないようになってます。下側のリズムが優先されます。	上下のリズムは、組み合わせないようにして下さい。
オートアルペジオのボイスのボタンを押しただけでアルペジオされる。	ボイスのボタンを押すと、パターンのうちの左から4番目のパターンでアルペジオされます。	アルペジオが必要でないときは、アルペジオボイスのボタンを押さないでください。

●楽器としての現象

現 象	原 因	解 決 法
音が割れる。(共鳴する、あるいはビビる)	エレクトーンの音は持続音ですから、周囲の戸棚、窓ガラスその他の器物に共鳴することが多くあります。	①音量を小さくする。 ②共鳴物を取り除く。
ペダル鍵盤ではピッチが高く、上鍵盤高音部では低く感じる。	特にピアノと比較した場合に感じますが、ピアノでは倍音構成が複雑で(特に高音、低音では)実音での調律ができず、倍音を聞いて調律しています。エレクトーンの場合は逆に実音で調律するので、ピアノとエレクトーンでは本質的に違うわけです。	

サービスと保証について

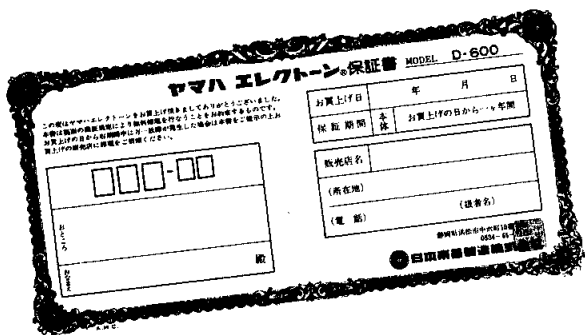
保証

エレクトーンのご保証は、保証書の裏面に記載の規定によりご購入から満1ヵ年です。ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。また保証は日本国内のみ有効といたします。

保証書

エレクトーン納入の際、保証書もお渡しいたしますので大切に保管くださるようお願いいたします。

また、納入調整サービスの際には納入調整者が保証書内に必要事項記入の上発行いたしますので記載事項をご確認ください。



保証書はよくお読みください。

保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がエレクトーンをご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申しあげるものです。が、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮の上で保管してください。(エレクトーンのイスの裏にあります保証書ホルダーをご利用ください)また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

納入調整サービス

エレクトーンをお納めさせていただきますと、販売店からエレクトーンのご説明かたがたお納めしたエレクトーンの調子を最良状態にするよう点検調整にお伺いいたします。その際、納入調整サービスカードを提示いたしますので、カード裏面の点検調整事項について、ご確認・ご捺印のうえ、カードを納入調整者にお渡しください。

お求めのエレクトーンについてご不明の点およびお聞きになりたい点がございましたらその節にお申しつけ下さるようお願い申し上げます。

保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合にはヤマハ特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いします。

2. 保証書は、サービスにお伺いした時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださるようお願い申し上げます。

3. 遠方に移転される場合は、事前にお買上げ楽器店あるいは弊社支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

保証期間後のサービス

満1ヵ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。また、修理可能期間は10年となって居ります。なお、補修用性能部品(製品本来の機能を維持する為に必要な部品)の最低保有期間は8年となって居ります。保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら、移転先の楽器店をご紹介します。

サービスのご依頼

●ご依頼の前に

1. コンセントに電気が来ているかどうか、電気製品を接続してお確かめ下さい。
2. 電話でのご依頼の際、再度、故障かどうかの確認をさせていただく場合がありますので、ぜひご協力をお願いします。
(42~43ページの「このような現象は故障ではありません」参照)

●エレクトーンの様子を詳しくお知らせ下さい。

1. できれば実際にエレクトーンをお弾きになっていらっしゃる方に様子を聞かせ願えれば、あらかじめ用意する部品などの見当が付き、スムーズにいきます。
2. 時々調子のおかしくなるような場合には、お手数でもその状態をできるだけ詳しくお知らせ下さい。たとえば、●夜だけ音が小さい ●ある時間だけ雑音が出る ●エレクトーンの音を出さなくても、スイッチを入れるだけで雑音が出るなどの場合です。
3. エレクトーンの種類など、サービスご依頼のエレクトーンに関する詳細は、保証書をご覧になってお知らせ下さい。使用部品が製造時期やモデルによって異なる事もありますので、早く確実にサービスさせていただくためにぜひお願いいたします。

●これだけはお知らせ下さい。

ご住所、お名前、ご連絡先、ご購入店、お買上げ年月日、機種名(モデル名)……保証書に記載されております。
症状……なるべく正確に。

サービスのお約束について

1. お仕事の関係で、昼間ご不在のお客様や留守がちなお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。
2. 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。
3. お店にサービス依頼されたにもかかわらず、日時が経過してもなおサービス員がお伺いしない場合は、お手数でも右記お問い合わせ先にご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

ヤマハのサービス網

全国のヤマハ特約楽器店と下記日本楽器支店が責任をもってアフターサービスを行なっております。

●お問い合わせ先

本社／浜松市中沢町10-1・電音サービス課
☎(0534)65-1111

北海道支店／札幌市中央区南十条西1-4・電音サービス係
☎(011)512-6111

仙台支店／仙台市原町南目薬師堂北2-1・電音サービス係
☎(0222)95-6111

千葉支店／千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内・電音サービス係 ☎(0472)47-6611

関東支店／高崎市歌川町8番地高崎センター内・電音サービス係 ☎(0273)27-3366

東京支店／東京都中央区銀座7-9-18パールビル内・電音サービス係 ☎(03)572-3111

横浜支店／横浜市中区本町6-61-1・電音サービス係
☎(045)212-3111

浜松支店／浜松市幸町3丁目5-8・電音サービス係
☎(0534)74-0311

北陸支店／金沢市泉本町7-7・電音サービス係
☎(0762)43-6111

名古屋支店／名古屋市中区錦1-18-28・電音サービス係
☎(052)201-5141

大阪支店／大阪府吹田市新芦屋下1-16・電音サービス係
☎(06)877-5151

神戸支店／神戸市灘合区浜辺通り6丁目1-36・電音サービス係 ☎(078)232-1111

広島支店／広島市安佐南区祇園町西原862・電音サービス係
☎(08287)4-3787

四国支店／高松市西宝町2丁目6-44・電音サービス係
☎(0878)33-2233

九州支店／福岡市博多区博多駅前2-11-4・電音サービス係
☎(092)472-2151

エレクトーン豆辞典 (索引としてもお使いください)

()内は本書で説明しているページ数です。

●アタック音 (P.6)

上鍵盤トーンレバー音色のひとつで、音の立ちあがり鋭い減衰音です。主に他のトーンレバーと組み合わせて使います。

●アタックレングス (P.10)

アタック音が消えるまでの時間をコントロールするレバーです。

●アッパー

アッパーとは「上」という意味。エレクトーンでは上鍵盤関係のことをさします。

●アッパープリセット (P.6, 21)

上鍵盤トーンレバーのうち、特別な音色がセットされているレバーで、コンビネーション1、コンビネーション2の音色があります。

●EXP-IN (P.35)

シンセサイザーなどと接続する端子です。

●エクスプレッションペダル (P.5)

エクスプレッションとは「表現する」という意味で、演奏しながら音の強弱を表現できるペダルです。

●ABC (P.16, 27)

エレクトーンでは、オートベース/コード (Auto Bass Chord) のことを、頭文字をとってこう呼ぶことがあります。

●ABCトーン (P.16, 27)

ABCを使ってリズム伴奏をするとき、下鍵盤トーンレバーのフルート以外の音色(ホルンやチェロなど)は、自動的にピアノギターなどの音色に切り換わります。これをABCトーンといいます。

●エフェクト

サステインやビブラートのような「効果」のことです。

●AUX-IN (P.35)

レコードやテープをエレクトーンから再生したい時、ステレオなどと接続する端子です。

●AUX-OUT (P.35)

テープに録音したり、他のアンプから音をだしたい時に接続する端子です。左右別々に接続することもできます。

●オクターブ

ある音に対して、8度の音程をもつ音をさします。したがって音名は同じです。

●オーケストラ音色 (P.6, 11, 24)

トーンレバーのうち、フルート以外の、ストリング、クラリネット、チェロなど、オーケストラで使われる楽器の音色をさします。

●オートアルペジオ (P.18, 29)

アルペジオとは和音を分散して連続的に奏でる奏法のこと。エレクトーンでは、この複雑な奏法が自動的に得られます。

●オートベース/コード (P.16, 27)

下鍵盤を押さえるだけで、複雑な和音のリズム伴奏が得られる自動伴奏機能です。

●オートリズム (P.14, 26)

エレクトーン演奏のバックに、ワルツやロックなどのリズムを自動的に流す機能です。

●オルガン

オルガンには、パイプオルガン、リードオルガン、電子オルガンなどがあります。エレクトーンのトーンレバー音色はパイプオルガンに似た音色が得られます。

●オルタネイティングベース

音階の1度と5度の音を交互にだす、基本的なベース奏法のこと。オートベース/コードを使えば自動的に得られます。

●音色 (P.6, 21)

「ねいろ」のことです。エレクトーンのレバーやボタンには、フルートやストリングなどの音色名がついています。これは表示されている楽器の音をイメージしてつくられた「音色」です。

●音程

音と音との間隔のこと。同じ高さの音を1度音程、隣の音を2度音程、オクターブ上の音は8度音程です。

●音符

音の長さを示す記号で、五線譜上の位置で音の高低も示します。

●音名

音の高さを呼びあわす名前のことです。日本語ではハニホヘトイロ、イタリア語ではドレミファソラシ。エレクトーンでは、特に伴奏をつける場合、アメリカやイギリスで使っているCDEFGABをよく使います。

●音量

音の強さ、大きさのことです。音は波形や周波数が同じでも、音量が異なっているとちがった感じに聞こえます。

●カスタムボイス (P.9, 22)

カスタムというのは「注文してつくった」というような意味です。スペシャルプリセットと同じように自然楽器に近い音がセットされている音色で、音質レベルが高く、音程、音量も微妙に変化します。

●カスタムA-B-C (P.27)

ABCのボタンのひとつで、このボタンを選ぶと、下鍵盤トーンレバーの音色は下鍵盤で押さえたおりの和音で伴奏をきざみ、ベース音はペダル鍵盤で踏んだ音を基音に自動伴奏されます。(オートリズムに連動します)

●カブラー効果 (P.21)

ひとつの鍵盤を押さえることによっていくつもの鍵盤を同時に押さえたのと同じような厚みのある音が得られる効果です。

●強弱記号

演奏する音の大きさを指示する記号です。p(ピアノ)とか、mf(メゾフォルテ)などがあります。

●休符

音のない場所と長さを示す記号です。長さは、同名の音符に準じます。

●グライド (P.13, 25)

音を半音さげる効果です。このタブレットを入れ、鍵盤を押さえたままフットスイッチを押すと、その間は音を半音さげることができます。

●クリックストップ (P.6)

トーンレバーやビブラートのレバーなどを上下にゆっくり動かしてみると、途中2カ所に軽い手ごたえがあって、レバーをセットできるようになっています。これをクリックストップ式といいます。

●クレッシェンド (≪)

だんだん演奏する音を大きくするよう指示する記号で、デクレッシェンド(≫)は逆に小さくするよう指示します。

●減衰音

鍵盤を押さえ続けても、途中で自然に消えていく音です。アタック音やスペシャルプリセットのピアノなどは減衰音です。

●鍵盤楽器

ピアノやオルガンなど、鍵盤をもった楽器の総称で、エレクトーンもそのひとつです。

●黒鍵

白鍵の間にはさまって、白鍵と半音の音程になっています。

●コード (P.17)

和音のことです。エレクトーンでは、主にコードによって伴奏をつけます。

●コードネーム (P.17)

和音の略記法のひとつで、和音の根音をアルファベットで表わします。Cはシーメジャー、Amはエーマイナー、G7はジーセブンスという和音のことです。

●コーラス (P.11, 24)

「合唱」の意味ですが、エレクトーンでは、ゆっくりとしたトレモロ効果が得られるタブレットにこの名前がついていて、ひろがりのある響きになります。

●根音

和音のもとになる音で、ドミソの和音ならドが根音です。コードネームは根音をアルファベットで表わします。ABCのシングルフィンガーコードで伴奏をつける時は、この根音を押さえるだけで自動的に和音が得られます。

●コンスタント (P.28)

ABCとオートリズムの連動をキャンセルするボタンです。このボタンを押すとABCトーンとベース音は持続音になります。

●コンビネーション (P.6)

「組み合わせ」という意味で、あらかじめトーンレバーを組み合わせさせた音色がセットされているレバーです。

●サステイン (P.12、25)

鍵盤から指を離してもしばらく音が残る「余韻」をつける効果です。上鍵盤・ペダル鍵盤の音それぞれにかけることができます。

●持続音

鍵盤を押さえている間、ずっと持続してでてくる音です。エレクトーンの音色のほとんどはこの持続音です。

●ジャズロック (P.15)

オートリズムのリズムパターンのひとつです。ファンキーなロックビートがきざまれます。

●16ビート (P.15)

最近ロックなどでよく使われるリズムで、オートリズムのセレクトボタンに用意されています。

●シングルフィンガーコード (P.16)

ABCのボタンのひとつです。このボタンを選ぶと、下鍵盤でコードの根音(例えばドミソならド)をひとつ押さえるだけで、下鍵盤トーンレバー、ペダル鍵盤トーンレバーの音色などが自動的に和音伴奏されます。(オートリズムに連動します)

●シンクロスタート (P.14)

シンクロとは「時を同じくする」という意味です。エレクトーンでは、下鍵盤またはペダル鍵盤を押さえると同時に、オートリズムやABCなどをスタートさせるスイッチのことをいいます。

●シンフォニックコーラス (P.11、24)

オーケストラのような広がりをもたせる効果で、3チャンネルのスピーカーから迫力のある響きが得られます。トーンレバー音色のほか、スペシャルプリセット、カスタムボイス音色にもかけることができます。

●スイング (P.15)

オートリズムのセレクトボタンのひとつで、ジャズの標準的リズムです。スタンダードナンバーなどに適しています。

●スタッカート (・)

音を短く切って軽快に演奏するように指示する記号です。サステインを使って演奏する時はスタッカートで弾いた方が、音がにごりません。

●ストリング (P.6)

「弦」のことです。エレクトーンの上鍵盤トーンレバーには、弦楽器の音をイメージしてつくったストリング音色があります。

●スペシャルプリセット (P.8、22)

プリとは「あらかじめ」という意味。つまりあらかじめセットされた音色のことで、上鍵盤または下鍵盤の音づくりに使います。単独でも、トーンレバー音色やカスタムボイスとミキシングしても使えます。

●スラー (〳)

音を流れるようになめらかに、次の音に移行させる弾きかたを指示する記号です。

●セレステ (P.11、24)

シンフォニックコーラスの左端にあるタブレットで、これをいれるとシンフォニックコーラスのかかりかたがゆったりとなり、荘厳な響きになります。

●速度記号

曲を演奏する時の速さを示す記号で、ある音符が1分間にきざむ数を数字で示す方法(例、J=72)と、言葉で示す方法(例、all egro, moderato)とがあります。

●ディアソーン (P.7)

パイプオルガンの基本的な音をイメージしてつくった重厚な音色で、下鍵盤トーンレバーのひとつです。

●セブンスコード (P.17)

ある音を根音に、3度の音を2つ重ねると普通の三和音になりますが、さらに3度上の音、つまり7度の音を加えた和音をセブンスコードといいます。エレクトーンの楽譜ではG7、A7というように表わします。

●タイ (〵)

同じ音程の音符が続いて並んでいる時、指を離さないで続けて弾くことを指示する記号です。

●タブレット

エレクトーンのスイッチのなかで、たて長のシーソースイッチをタブレットといいます。手前を押すとON状態になります。

●ダルセーニョ (D.S.)

曲の途中で、この記号のところまできたら、※記号までもどります。

●断続音

エレクトーンのおよそ半分の音色は、切れ目のない音色ですが、スペシャルプリセットのパンジョー、マンドリン音色は、くり返し音がこまかくきざまれる断続音です。

●中央ハ

鍵盤のはば中央にある音で、高音部譜表の下1線上に記されます。1点ハ音、c1とも書きます。

●チューバ (P.7)

金管の低音楽器です。エレクトーンのパedal鍵盤トーンレバー音色のひとつに、この楽器音をイメージしたのがあります。

●ディスコ (P.15)

ロック系の新しいリズムです。オートリズムのセレクトボタンに用意されています。

●ディレイビブラート (P.10、24)

鍵盤を押さえてから、しばらくしてビブラートがかかる効果です。

●デジタルディスプレイ (P.14、26)

オートリズムの速さを、1分間に4分音符が打つ数で表示します。速度の指定がある曲を演奏するときなどには、あらかじめテンポがセットできて便利です。

●テヌート (一)

音の長さを十分保つように指示する記号で、いくぶん長めに演奏します。

●テンポインジケータランプ (P.26)

オートリズムをスタートさせている時、第1拍目に赤く点灯するランプです。

●テンポコントロール (P.14、26)

オートリズムのリズムがきざまれる速さ(テンポ)を調節するつまみです。

●ト音記号 (G)

高音部の楽譜(メロディー譜)の最初に書かれている記号で、ト(G)の音の位置を示しているためト音記号と呼ばれています。

●トーンキャビネットコネクター (P.35)

エレクトーンの背面についている端子です。ヤマハトーンキャビネット用と、レスリースピーカー用があります。

●トレモロ (P.11、24)

トレモロとは、音を同じ音程でくり返し、音をうねらせる効果です。エレクトーンでは、トレモロスピーカーの前にあるドラムを回転させてこの効果をかけます。

●ニーレバー (P.25)

エレクトーンの棚板下にあるレバーで、ひざを右に動かして操作します。これを使うと、演奏中、任意にサステインをかけることができます。

●ノーマル (P.15、17)

「普通の」という意味で、ABCのノーマルボタンは、ABCをキャンセルして普通の演奏をする時に使います。オートリズムのノーマルボタンは、バリエーションをキャンセルする時に使います。

●白鍵

鍵盤の白い部分で、音名(CDEFGAB)で表わされる音がなっています。

●ハーブシコード (P.8)

チェンバロともいわれ、16~18世紀頃によく使われた鍵盤楽器です。スペシャルプリセットにこの楽器の音をイメージしてつくった音色があります。

●バラード (P.15)

オートリズムのセクターのひとつで、スイングにアフタービートのかかったものです。スローなポピュラーソングに通じています。

●バリエーション(P.15、26)

16あるセレクトボタンのリズムに変化をつけるボタンです。8小節目または16小節目ごとにバリエーションパターンが自動的に入ってきます。

●ビブラート(P.10、24)

音をこきざみにふるわせ、うるおいをつける効果です。ムーディな曲やスローテンポの曲に適しています。

●拍子記号

曲の拍子を示す記号で、楽譜の最初に分数で書かれています。 $\frac{4}{4}$ 拍子と $\frac{3}{4}$ 拍子はそれぞれC、 C と書くこともあります。

●ファニー(P.9)

「おもしろい」という意味で、カスタムボイスには、ワウワウ効果をもったファニー音色があります。

●ファンブロック

ファンとは「楽しみ」のこと。エレクトーンでは、自動的に伴奏が楽しめるオートベース/コードなどの機能をいいます。

●フィート(P.21)

音の高さを表すもので、'と書きます。もともとパイプオルガンのパイプの長さによって来しています。

●フィンガードコード(P.17)

A B Cボタンのひとつで、この赤いボタンを押し、下鍵盤で和音を押さえると、下鍵盤トーンレバーとペダル鍵盤トーンレバーの音色で、自動的にリズム伴奏されます。(オートリズムに連動します)

●フェイド・アウト

F・Oと表示されていることもあります。音楽では、音をしだいに小さくして、自然に消えていくような弾き方をするように指示する記号です。

●フェルマータ(∞)

音符よりも音を長く伸ばして弾くように指示する記号です。

●フットスイッチ(P.13、25)

エクспRESSIONペダルの左奥にあるゴムのスイッチで、右足の先で左に押して操作します。これを使うと、演奏中にグライドやリズムストップの効果が任意に得られます。

●付点音符(・)

音符の右に小さな点をもつもので、もとの音符の半分の長さが加えられます。

●ブライト(P.22)

カスタムボイスの音色を変化させるレバーで、メロー側にセットするとやわらかい感じになり、ブリリアント側にセットすると、きらびやかな感じになります。

●ブリリアンス(P.10)

音色全体をきらびやかで明るい感じにする効果です。

●プリセットアンサンブル(P.23)

スペシャルプリセットとカスタムボイス音色の使い方を決めるタブレットです。それぞれのスイッチの役割をするタブレットと、上鍵盤トーンレバーとミキシングさせたり、下鍵盤に移したりするタブレットがあります。

●フルート音色(P.6)

エレクトーンの最も基本的な音色で、いろいろなレジストレーション(音づくり)のもとになります。音程も一番多く用意されています。

●ブレークバリエーション(P.15、26)

リズムにアクセントをつける変則リズムです。オートリズムを鳴らしている時、ONスイッチを押せば、それまで鳴っていたリズムに代わってこの変則リズムへ切りかわります。

●ヘ音記号(♮)

低音部の楽譜(伴奏譜)の最初に書かれている記号で、へ(F)音の位置を示しています。

●変調

曲の途中で、調子(キー)を変えることです。

●ペダルス(P.7)

エレクトーンでは主にペダル(足)鍵盤関係のことをさします。

●ペダルピッチコントロール(P.21)

ペダル鍵盤の音程を微妙に調節するつまみです。

●ヘッドホンジャック(P.35)

ヘッドホンを接続する端子です。夜間の練習などにご利用ください。ステレオヘッドホン用の端子もあります。

●ボイス(P.18)

「声」という意味ですが、エレクトーンでは音色と同じような意味に使います。オートアルペジオの音色は、ボイスと呼んでいます。

●マイナーコード(P.17)

短調の和音です。Am、Emのように表わします。A B Cのシングルフィンガーコードを使っている時は、下鍵盤と同時にペダル鍵盤の黒鍵を踏めば、メジャーコードからマイナーコードに変わります。

●マスターボリューム(P.5)

エレクトーン全体の音量をコントロールするつまみです。

●マニュアル

手鍵盤のことです。

●マニュアルバランス(P.7)

上鍵盤と下鍵盤の音量のバランスを調節するレバーです。

●マルチベース(P.17)

A B Cを使って自動伴奏をしている時、このボタンを押すと、ベース進行のパターンが変化します。選んだリズムによって、ベースパターンは異なりますが、マルチベースによってさらに複雑な、ベース進行が得られます。

●メジャーコード(P.17)

長調の和音のことで、C、Fというように表わします。A B Cのシングルフィンガーコードを使っている時、下鍵盤をひとつ押さえると、その音を根音にしたメジャーコードが得られます。

●メモリー(P.17)

A B Cやオートアルペジオを使って自動伴奏している時、このボタンを押すと、下鍵盤から指を離しても、同じ伴奏が自動的にくり返されます。

●ラテンロック(P.15)

オートリズムのセレクトボタンのひとつで、ロックにラテンリズムをミックスした感じのリズムです。

●リズムセレクトボタン(P.15)

ワルツ、スイング、ジャズロックなど、お好みのリズムをセットするボタンで、ひとつでも、組み合わせても使えます。

●リズムバランス(P.14、26)

オートリズムをきざむ高音のシンバル系と低音のバスドラムなどの音量のバランスを調節するつまみです。

●リタルダンド(rit.)

だんだん遅くして弾くように指示する記号で、曲の終わりなどでよく使われます。

●リバーブ(P.13)

大きなホールで演奏しているように音がひろがる一種の残響効果です。

●臨時記号(♯、♭、♮)

曲の途中で、音の高さを一時的に変える記号です。半音上げる♯(シャープ)、半音下げる♭(フラット)、もとの音にもどす♮(ナチュラル)などがあります。

●レガート

「なめらか」に演奏するように指示する記号です。スラーよりもっと広範囲な表現で、全体に音を切らずに演奏します。

●レジストレーション(P.30)

演奏にあたって、その曲想に合った音づくりをするためにエレクトーンのリバーやボタンなどの組み合わせを決めることです。

●レスポンス (P.12、25)

鍵盤を押さえた時と離れた時の音のでかたを变化させる効果です。フルート音色は立ちあがりと消えかたが早くなり、オーケストラ音色は立ちあがりかゆるやかになります。

●ロワー

ロワーとは「下」のこと。エレクトーンでは主に下鍵盤関係のことをさします。

●ワウギター (P.7)

ワウワウ効果のかかった音色で、オートリズムを使っている時は、リズムに合わせてきざまれます。

●ワウブラス (P.6)

ブラスとは金管楽器のことで、これにワウワウ効果がかかっており、鍵盤を押さえた時に微妙に変化します。

●和音

音程のちがう音が2つ以上同時に響いたものをいいます。ドミソなどの三和音が基本になりますが、さまざまな種類があります。

本社・工場／〒430 浜松市中沢町10-1
 TEL. 0534(65)1111
 東京支店／〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
 TEL. 03(572)3111
 銀座店／〒104 東京都中央区銀座7-9-14
 TEL. 03(572)3131
 渋谷店／〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7
 TEL. 03(476)5441
 池袋店／〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
 TEL. 03(981)5271
 横浜支店／〒231 横浜市中区本町6-61-1
 TEL. 045(212)3111
 千葉支店／〒280 千葉市千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内
 TEL. 0472(47)6611
 関東支店／〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内
 TEL. 0273(27)3366
 大阪支店／〒564 吹田市新芦屋下1-16
 TEL. 06(877)5151
 心斎橋店／〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
 TEL. 06(211)8331
 神戸支店／〒651 神戸市灘合区浜辺通6丁目1-36
 TEL. 078(232)1111
 四国支店／〒760 高松市西宝町2丁目6-44
 TEL. 0878(33)2233
 名古屋支店／〒460 名古屋市中区錦1-18-28
 TEL. 052(201)5141
 北陸支店／〒921 金沢市泉本町7-7
 TEL. 0762(43)6111
 九州支店／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
 TEL. 092(472)2151
 福岡店／〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
 TEL. 092(721)7621
 魚町店／〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1
 TEL. 093(531)4331
 北海道支店／〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター内
 TEL. 011(512)6111
 仙台支店／〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1
 TEL. 0222(95)6111
 広島支店／〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
 TEL. 0822(48)4511
 浜松支店／〒430 浜松市田町32
 TEL. 0534(54)4115

エレクトーン®は当社の登録商標です。



YAMAHA

日本楽器製造株式会社